

**障害者も安心して住める町に**

**[答弁]**  
障害者福祉計画に基づき、実現します

田母神節子議員

**問** 国は「平成28年 生活のしづらさなどに関する調査」の結果を発表しました。約7200人の調査結果から、障害者の生活実態と生活支援の結果が見えてきました。障害者1人で見ると、18〜65歳までで月収9万円未満が2人に1人、65歳以上で3人に1人。生活保護受給者は18〜65歳で8.6%、65歳以上で4.1%と、全国平均の生活保護受給者1・69%を大きく上回ります。また、日中の過ごし方では「家庭内で過ごしている」が最も多く、65歳未満で3人に1人、65歳以上で2人に1人。家庭以外では「障害者通所サービス利用」が知的障害

者の療育手帳保持者65歳未満で43.3%と、家庭の21.7%を大きく上回っています。

**一般就労への期待は大きい**

賃金など報酬を得て働いている人は、会社など正職員11.7%、正職以外15%、福祉施設など就労継続支援A型2.9%、一般就労が困難な人対象のB型は7.5%。65歳未満で「今までと違った日中を過ごしたい人」が20%で、正職員32.4%、正職以外28%と、一般就労への期待の大きさが

**障害者施策**

寄居町障害者計画・第5期寄居町障害福祉計画

うかがえますが、町の調査と今後の障害者施策について伺います。

**答** 今回、町は国の調査区域に該当していませんでしたが、今後該当したら国の指示に基づき調査に協力します。町では昨年、町障害者計画策定に当たり障害者手帳所持者全員を対象に実態調査を実施。本年3月策定の町障害者計画・障害福祉計画に基づき、基本理念「すべての人が支え合う、地域共生のまち よりい」の実現に向け、各施策を推進します。



**林道整備**

寄居町森林整備計画

**問** 昭和41年から42年にかけて建設された中間平緑地公園に通じる林道の久々戸線は、一部に路肩の崩落場所があり、長期間仮設の修繕しか行われていません。その原因と今後の整備見通しについて伺います。

**答** この場所は、平成7年の災害により路肩が崩落。当時、個人所有の山林であったため、地権者との交渉の結果、崩落場所のみ仮設の復旧工事を行いました。平成30年に、地権者から当該山林が町に

**久々戸線の全面開通は**

**問** 昭和60〜63年にかけて寄居町秋山地内を起点として、総延長2228mで計画されたこの林道は1800mのみが開通。現在、未開通部分は426mで、全面開通となっています。全面開通することにより、林道機能のほか、秋山地区から折原上郷、未野地区に通じる道路としても有効です。また、寺山桜農園へと通じる観光道路としても期待されます。事業

寄附されました。引き続き安全・安心に通行できる林道整備に努めます。

**2カ所の林道、早期改修を**

**[答弁]**  
事業の必要性等を含めて検討します

中嶋文雄議員

中断の原因と、今後の全面開通に向けた見通しについて伺います。

**答** 中断理由は、一部地権者との用地交渉が難航し、事業を継続することが困難になったことです。それ以外の林道用地は、既に町で取得済みです。

今後の見通しは、久々戸線と同様に当該土地が地権者より町に寄附されていますが、事業中断から30年が経過しています。このため、県からの補助事業等を検討するほか、事業の必要性等も含めて改めて検討していきます。



**公共施設個別計画の策定は**

**[答弁]**  
平成32年度までに具体的内容、時期を明示します

峯岸克明議員

**問** 公共施設・インフラ施設の個別施設計画をどのような内容で、いつまでに策定するのか、またどのような組織体制で行うのか伺います。

**答** 複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策について実施時期を施設ごとに整理し、平成32年度までに策定します。また総合政策課長を会長とし、財務課長をはじめ施設所管課長15名で構成する「寄居町公共施設等アセットマネジメント推進会議」を進めます。

**問** 学校の再編をはじめとして、町民全体の関心事になると思いますが、町民への説明について伺います。

**小中学校大再編時代へ**

**問** 現在、寄居小11学級268名、桜沢小7学級205名、用土小7学級201名、折原小6学級71名、鉢形小10学級258名、男衾小13学級422名、寄居中11学級371名、城南中6学級153名、男衾中7学

級224名です。義務教育なので、国の法令基準で再編すれば、現在でも小学校3校、中学校2校となります。2040年の児童生徒数からシミュレーションすると、最大でも小中学校各2校となります。学校数・適正配置について町の考えを伺います。

**答** 将来の児童生徒数を算出する中で、学校数・適正配置について、国の基準を参考にし、平成32年度までに検討していきます。

**公共施設個別計画**

寄居町公共施設等総合管理計画

素案ができた段階で、具体的なテーマを設定して、町民に説明し、ご意見を伺いながら進めていきます。



寄居町の今とこれから

一般質問

今回は7名の議員が質問しました

寄居町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが**一般質問**。質問内容は、議案とは関係なく議員が自由に決めます。ここでは、全質問項目（下表）と、質問した議員ごとに1項目を要約してお知らせします。

町の姿勢・まちづくり	公共施設・インフラ施設の老朽化に対する個別計画の策定	峯岸	P.6
	公共住宅の充実強化	田母神	
	町有地の有効活用	石井	
	三ヶ山運動公園の整備・活用方法	佐藤	P.9
	地域間交流事業の取り組み	佐藤	
教育・福祉・医療	障害のある人も安心して住める町	田母神	P.7
	高齢者の交通の確保	大澤	P.8
観光・産業振興	教育（小中一貫教育）	大澤	
	中間平緑地公園の管理	中嶋	
	林道の整備状況	中嶋	P.7
	荒川・玉淀再生	石井	P.8
	中小企業の設備投資を促す制度	鈴木	P.9
安心・安全	森林資源の保全と活用	佐藤	
	バリアフリーマスタープラン・基本構想	鈴木	
	通学路等における防犯対策	鈴木	